

確認プリント解答【中学校2年生】データの活用

① イ

② (1) オ (2) ウ

③ ウ

④ (1) $\frac{3}{8}$ (2) $\frac{1}{4}$

⑤ (1) $\frac{1}{36}$ (2) $\frac{5}{36}$

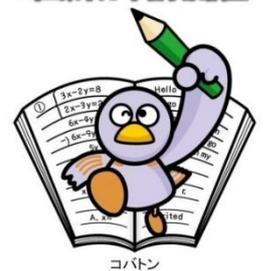
⑥ (1) イ (2) $\frac{3}{5}$

⑦ $\frac{2}{13}$

(1) $\frac{1}{12}$

⑧ (2)
 (解答例)
 全校の回答用紙90枚をくじにする場合は全部で90通りの出方があり、Fが選ばれるときは、場合の数が27通りなので確率はである。また、1年生の回答用紙50枚だけをくじにする場合は全部で50通りの出方があり、Fが選ばれるときは、場合の数が20通りなので確率はである。2つの場合の確率を比べると、よりの方が大きい。よって、全校の回答用紙90枚をくじにする場合よりも1年生の回答用紙50枚だけをくじにする場合の方がFが選ばれやすい。

埼玉県学力・学習状況調査



(1)
(解答例)

アを選択

コマAの回った時間の方がコマBの回った時間より55秒以上の階級の度数の合計が大きいため、コマAの方がより長い時間回りそうなコマである。だから、コマ回し大会ではコマAを選ぶ。

⑨

イを選択

コマBの回った時間の方がコマAの回った時間より50秒以上の階級の度数の合計が大きいため、コマBの方がより長い時間回りそうなコマである。だから、コマ回し大会ではコマBを選ぶ。

(2) ア

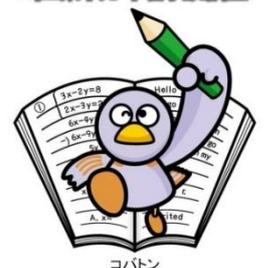
(1) 10

(2)
(解答例)

⑩

1991年～2005年の箱ひげ図の箱よりも2006年～2020年の箱ひげ図の箱の方が右側にある。したがって、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある。

埼玉県学力学習状況調査



コバトン